

Topics 1 全国私立大学で唯一！ 「医学物理・放射線技術」細目でトップ5にランキング

科研費(科学研究費助成制度)は、14の分野、79の分科で構成され、「系・分野・分科・細目」で審査されています。広島国際大学は、平成26年度から新たに設けられた「医学物理・放射線技術」細目で、採択数が全国の私立大学唯一のトップ5に入りました。

本学は現在、教育改革をはじめ、さらなる研究力向上を図り、さまざまな取り組みを強力に推し進めているところです。その中で科研費においては、ここ数年、採択件数・配分額ともに上昇傾向にあり、今年度は開学以来最高の採択件数を記録。全学を挙げて教育・研究を推進し、成果が生まれています。

【科研費(科学研究費助成制度)とは・・・】

全国の大学や研究機関で行われる、さまざまな研究活動に必要な資金を研究者に助成する仕組みのひとつで、人文・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる独創的・先駆的な学術研究(研究者の自由な発想に基づく研究)を対象としています。また、科研費は、大学機関の研究力を計るバロメーターにもなっています。

【医学物理・放射線技術】

順位	機関種別名	機関名	新規採択累計数	うち女性
1	国立大学	東北大学	8.5	0.0
2	国立大学	筑波大学	5.0	0.0
2	国立大学	大阪大学	5.0	0.0
4	特殊法人・独立行政法人	独立行政法人国立がん研究センター	4.0	0.0
5	国立大学	北海道大学	3.0	0.0
5	国立大学	群馬大学	3.0	0.0
5	国立大学	東京大学	3.0	0.0
5	国立大学	金沢大学	3.0	0.0
5	私立大学	広島国際大学	3.0	1.0
10	国立大学	新潟大学	2.0	0.0
10	国立大学	名古屋大学	2.0	0.0
10	特殊法人・独立行政法人	独立行政法人日本原子力研究開発機構	2.0	0.0

※文部科学省HPより抜粋

科研費研究課題名 「冠動脈造影における超高精細DSA法の開発」

心臓DSAの研究をしています。血管造影の際、造影剤注入前後の画像を比較、引き算をして、必要な血管像だけを映し出す方法をDSAと言います。動きの少ない頭部や腹部などで使用される方法ですが、常に動き続ける心臓はエラーが多く、DSA法は使われていません。しかし、心臓造影に活用できれば、少ない造影剤で心臓検査や血管治療ができるため、患者さんの身体的負担を軽減でき、また肋骨等と重なった非常に細い血管の観察も可能になります。



保健医療学部 診療放射線学科
山本 めぐみ 助教



Topics 2 広島国際大学 健康フェアを開催

今年で5年目を迎える「健康フェア」。テーマは「あなたは本当に健康ですか?～今から始める健康づくり～」として、5月(福岡市)、7月(広島市)、10月(東広島・呉キャンパス大学祭)に開催しました。

今年度は、地域とのつながりをさらに強化すべく、東広島キャンパス大学祭に加え、新たに呉キャンパス大学祭でも開催し、両キャンパスで約650名の方々にご来場いただき、盛況のうちに終えることができました。

参加いただいた方からは、継続開催を望む声や、「自分の体や健康について考えるよい機会になりました」、「学生さんがやさしくて話しやすく、この人たちが将来、私たちの力になってくださるのだと思い、明るい未来を感じました」といった、多くのあたたかいコメントをいただきました。

今後ともさまざまな取り組みを通じて地域社会と本学、学生をつなげ、地域社会に必要とされる大学であるよう努めていきます。ご期待ください。

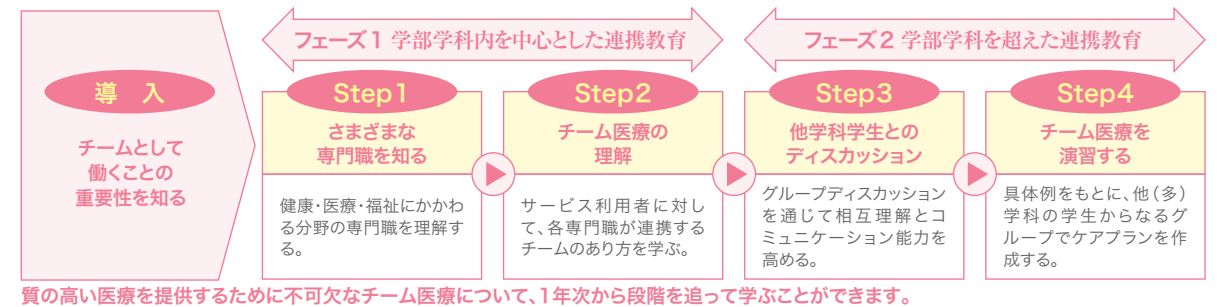


Topics 3 学科の垣根を超え チーム医療を実践

本学では、医療系総合大学の専門教育の一環として、専門職連携教育(IPE)に取り組み、学生全員が専門職連携(IPW)に関する知識・技術を修得することを目的に、2013年度以降の全学科全入学生を対象に本格実施しています。IPEは、学科単位で学ぶStep1・2、および学科の垣根を超えた連携教育のStep3・4の4つの段階があり、Step3・4では医療系総合大学ならではの、実践的なチーム医療を学びます。また、2014年度からは、全学をあげて、IPEについて学び、就業力育成プログラムの実施や講演会を開催する日として、学部・学科の境界なく交流する「広国DAY」を設けました。



4つのステップのチーム医療



実践的なチーム医療(Step3・4)を夏期休暇期間中に試行実施

Step3



『IPE Camp』と題した「他学科の学生との専門的コミュニケーションの実践演習」に、1～3年の125名が参加しました。学生は、所属学科の実習室ではホスト、他学科の実習室ではゲストとして、学内の施設を訪問し、各学科で養成する職種についての説明や実習器具などの体験を通じて、自分の志望する職種との連携について考える機会となりました。

Step4



多学科・学年混成チームで、提示された事例について、「利用者や家族の生活を考慮し、問題点を解決するためのケアプランを考える演習」に、87名(10チーム)の学生が参加しました。「日頃、他学科の学生と一緒に学ぶ機会がなかったが、自職種だけでなく他職種についても理解しておくことが重要であると分かった」などの意見がありました。

最終日にはStep3、Step4の合同懇親会を実施し、参加学生の意見交換、他学科・他学年の学生とコミュニケーションを図る機会となりました。今は小さな種ですが、命と心を支えるチーム医療・IPWの芽が育まれ、将来、医療現場、地域社会でどのような花が咲き、実がなるのか大いに楽しみです。

第2回「広国DAY」を開催しました!!

「広国DAY」は、学部・学科・学年の枠を超えた教育の充実、および、医療・健康・福祉の分野で活躍する「専門職業人」としての意識の醸成を目指して、2014年度から導入した新たな取り組みです。学生に対するディプロマ・ポリシー(学位授与方針)の保証として、本学の全学生を対象に専門職連携教育(IPE)や就業力育成プログラムなどの各種講演会・プログラム等を実施しています。第2回となる「広国DAY」は9月26日に開催され、専門職連携教育(IPE) Step1、Step4の成果発表を行いました。

